

病虫害防除情報

令和8年5月26日
埼玉県病虫害防除所

1 情報名 ナスのオオタバコガについて

2 情報内容

病虫害防除所では4地点でオオタバコガのフェロモントラップ調査を行っております。

このうち2地点では、5月前半までの成虫誘殺数が平年の3～4倍に達しています。本虫は野菜、花き類を中心として50種類近い作物を加害します。幼虫は若齢期から植物体へ食い入ることも多く、いずれの作物も農産物としては致命的な被害となります。

向こう1か月の気象予報では、気温が高い見込みであることから、今後、本虫の活動がさらに活発になると予想されます。

被害が拡大する前に、対策のポイントを参考に、状況に応じた防除を実施しましょう。

(1) 生態と被害

幼虫は葉や果実、花を食害します。植物体に食い入る性質が強く、トマト、ナス、ピーマンのような果菜類では果実に、キャベツ、レタスでは結球内に潜り込み、内部を加害し、農産物としては致命的な被害となります。

また、集団を形成しないため、幼虫若齢期の被害に気付きにくいことも特徴です。

オオタバコガは1年で3～6回発生し、世代を増すごとにその発生量も増加するため、発生初期における防除が極めて重要です。

(2) 気象経過と予測

4月の平均気温は平年よりかなり高く経過し(+2.1℃、熊谷)、5月21日に気象庁が発表した季節予報によれば、関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、平年より高い確率が60%、降水量は多い確率が50%と予測されています。



写真1 ナスの果実に食い入る幼虫



写真2 ナスの花を食害する幼虫

(参考) 最新の誘殺数の推移は「フェロモントラップ等調査データ」(埼玉県 HP) を参照ください。
<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0916/bojo/pheromonetrapp.html>

(3) 対策のポイント

- ア 新しい食害痕や虫糞を見つけたら、その周辺に幼虫がいる可能性が高いため注意深く観察し、見つけ次第捕殺します。
- イ 摘芯した脇芽などには卵や若齢幼虫が見られるので、株元などに放置せず、ほ場外で処分します。
- ウ 幼虫が作物内に食入してしまうと薬剤散布の効果が低下するため、被害を確認したら直ちに防除を行ってください。
- エ 老齢幼虫に対しては薬剤の効果が低下するため、薬剤散布は若齢幼虫のうちに実施しましょう。
- オ 施設栽培では、開口部に寒冷紗等（5mm目程度の防虫ネット）を張って、成虫の侵入を防ぎましょう。

表 ナスにおけるオオタバコガの防除薬剤例（使用基準は令和8年5月20日現在）

薬 剤 名	IRAC コード	使用時期	使用回数
アクセルフロアブル	22B	収穫前日まで	3回以内
ディアナ SC	5	収穫前日まで	2回以内
アニキ乳剤	6	収穫前日まで	3回以内
アフームエクセラ顆粒水和剤	6、15	収穫前日まで	2回以内
グレーシア乳剤	30	収穫前日まで	2回以内

3 IRAC コード及びFRAC コードについて

病害虫の薬剤抵抗性発現防止の観点から、国際団体：CropLife International の殺虫剤抵抗性対策委員会がまとめた分類表（IRAC 分類表）及び殺菌剤耐性菌対策委員会がまとめた分類表（FRAC 分類表）に基づく農薬有効成分作用機構分類コードを記載しています。

クロップライフジャパンホームページ：

<https://www.croplifejapan.org/activity/mechanism.html>

<農薬使用上の注意事項>

- 1 農薬は、必ず最新のデータ及びラベル等を確認の上、使用する。
- 2 剤の使用回数、成分毎の総使用回数、使用量及び希釈倍率は使用の都度確認する。特に、蚕や魚に対して影響の強い農薬など、使用上注意を要する薬剤を用いる場合は、周辺への危被害防止対策に万全を期すること。
- 3 農薬の選定に当たっては、系統の異なる薬剤を交互に散布する。
- 4 農薬を散布するときは、農薬が周辺に飛散しないよう注意する。
- 5 周辺の住民に配慮し、農薬使用の前に周知徹底する。

※ 埼玉県農薬危害防止運動実施中（令和8年5月1日～8月31日）

問い合わせ先 埼玉県病害虫防除所 TEL：048-539-0661